

わたし 私たちの?まち

つながる♡つながる

みんなで仲良くくらしているこのまち。地球のどこかのまちで、君は人々のどんな様子を見つけたかな? 色んな国の人やいて、一緒に学んだり遊んだり。働く人がいて、いろんな食べ物がある。なんだかとても楽しそう!

1 どんな人がいた?

2 どんな食べ物があった?

3 じゃあ、君のまちには他に何かがあるかな?

君のまちにも色んな国の人やそれぞれの習慣・文化を持ってくらしている!

その色んな人がいろんな場面できあがりあって生きている!

私たちのくらしにはその1人ひとりが必要で大切な存在なんだね

多様なまち!

多様性がいっぱい!

君の目は何をみた? 私たちの?まちMAPには、色んな人がいたね。学校に行ったり海で遊んだり、色んなことが起こっていたよ。君は何を見つけたかな? 答えはウェブでチェックしてね。

私たちのまちを もっともっと 多様なまち にしよう!

何がいて、どんなかわかりがあったら 楽しいかな? イメージしてみよう!

お絵かき〜! 中面のマップにもどって好きな所に絵をかこう!

わたし 私たちの?まちMAP 遊び方

① 中面を開く

② 楽しいまちのMAP。何が起きている? よ〜く見てみよう

③ 好きなように色をぬって、好きな絵を好きな所にかこう!

④ ウラ面にゴー! 「まとめコーナー」でふりかえろう。

君の絵と色で 私たちの?まちMAP を カラフルにしよう!!

ぬりえ+?! 遊び方はこちらから

ぞいでみよう

ぼくをみつめてね

タ★ヨウセイを探せ!

ぼく ぼくのアイテム を探そう!

カンボジアと日本をつなぐ かが屋 möily (モイリー)

岐阜県垂井町 池宮聖実さん

テレビや教科書で知ることがすべてだと思っていた。でも...

小さなころから教師になることを夢見ていた私。大学生の時、初めてカンボジアを訪れ、そこでショックを受けます。それまで私の知っていたカンボジアのイメージは、「貧しい、かわいそう...」。でも、私の目で見たカンボジアの人々は全くちがっていました。自転車をかりて田舎道を走った時、「家においで〜」と声をかけてくれるむじゃきな笑顔。明るくなつこいカンボジアの人びと。「自分の目で見た世界を子どもたちに伝えたい!」そう決めて日本に帰ってきました。

世界一周、16か国の旅。 「どこへ行っても人は人なんだな〜」

その後、さらに世界一周の旅に出ます。孤児院で働き、たくさんの学校を訪問しました。時にはヨルダンの砂ぼくで暮らすベドウィンたちとどうくつで生活し、またある時にはケニアのマサイ族といっしょにおどり、ヤギの肉を食べました。だれもが持つ「生きる力」。それを精いっぱい使って生きることを学びました。こうして現地の人の家にとまり、同じものを食べ、仲良くなるにつれて、かれらのかかえる問題が、まるで自分の家族の問題のようになっていきました。「目の前のこの子が苦しんでいるのに...」私には何もできません。家族のようにもかえてくれた世界中の友だち。ただ「恩返しをしたい!」の気持ちでした。「日本に帰ったら自分で何かやる!」そう決心し、帰国後、カンボジアと日本をつなぐかが屋「モイリー」を一人で立ち上げました。

「チャレンジって楽しい!!」 「冒険にわくわく!!」

カンボジアの職人さんが手作りするおしゃれなかご。私は日本でこの質のよいかごを売り、その売上でカンボジアの職人さんたちが生活しています。日本とカンボジア、売ると作る人、みんながあるからこそこの仕事です。世界を舞台に一人で会社を立ち上げるのはまさに冒険。簡単ではなかったけれど、精いっぱい生きる人々の姿に、「自分にもできるはず!」そんな勇気をもらいました。冒険にわくわくしながら、みんなの力でここまで来ることができました。

世界とつながる仕事 Vol.8

小さなころから教師になりたかった私。大学生の時、貧しい人たちの役に立ちたいとの思いでカンボジアへ行き、そこから私の人生は一変します。(かが屋 möily(モイリー) 池宮聖実さん)

みんなでやったら楽しい! イェー!

くわしくはこちら

名古屋国際センターの夏休みイベント

- 夏休みクイズラリー 8/1(水)~31(金)
- 世界のいただきますを作ってみよう 8/18(土) もうしこみ 8/4(土) 10時~
- 絵本のひろば 8/4(土)、5(日)

くわしくは 052-581-0100 まで

わたし 私たちの?まちMAP

ぼく タ★ヨウセイ

ミッション1 ぼくのアイテムをさがしてね!

- どんな言葉でもわかる「まほうの耳」
- どんな言葉でも話せる「まほうの辞書」
- だれとでもわかりあえる「あたたかい気持ち」

ミッション2 色んな国の人たちがくらすこのまち。みんな何してるかな? ぼくに見てみよう。

公益財団法人名古屋国際センター (NIC)

名古屋市中村区那古野1丁目47-1 TEL: (052) 581-0100 火曜日~日曜日/9:00~19:00(ただし8/12・12/29~1/3は休館) 「名古屋」駅から徒歩7分、または、地下鉄桜通線「国際センター」下車すぐ。

この「子どもニック・ニュース」は ホームページからもダウンロードできるよ。

http://www.nic-nagoya.or.jp

みんなへのメッセージ

大切なのは「自分の目で見ること。」ぜひ自分の目で世界を見てみて! 出会ったらまずは仲良くなってみよう。みんな同じ人間だよ!

仕事だって楽しくていい、遊んでいい、おしゃれていい! そんな聖実さんの想いがつまったmoilyのことをもっと知りたい人は⇒

「子どもニック・ニュース」(年2回)No.9 ①本事業は、名古屋市の指定管理事業です。平成30年7月1日 発行・編集 公益財団法人名古屋国際センター ※本誌のイラスト・写真等の無断転載及び二次使用はお断りします。

子どもニック・ニュース 2018年夏休み号